

【具体的に取り上げて欲しいテーマ】

1	大規模住宅ではなく、戸建てが集まった住宅地の例も聞きたい。
2	行政・地域包括の視点からの実践事例を知りたかったです。
3	認知症＋精神、認知症＋アルコールなどの複合型に問題を抱える高齢者も増えてきています。どのような働きかけ、対応をしていくべきか、学びたいと思います。
4	自治体独自の取組みもよいのだが、転居されたりと別自治体に居住することで、トラブルも見られる。同じ行政サービスが受けられないのかと苦情聞かれたこともある。国・県・市町村等で、行政サービスへの取組み異なっている部分など、実に理解できるものがあればよい。
5	連携したまちづくりのモデルのお話がお聞きできると嬉しいです。
6	地域包括支援センターの関与の仕方について事例を多く紹介して頂きたい。
7	本日講演して下さった青木社長の事業所の中でどんどん介護度が下がり、「要介護からの卒業」というキーワードがありましたが、具体的にどのような取組みを行っていくことで介護度に変化を与えられるのかももっと聞かせて頂ける機会があるといいなと思いました。
8	同じテーマで「現場の人達」の実践報告が聞きたい。地域へのアプローチの仕方や困難な点等より具体的な話が聞きたい。
9	現在、医療福祉、介護の連携を大学教育プログラムとして演習するような授業を行っていかうとしております。学生時代にそのようなネットワークを作っておくことが実際に卒業後に役立つと考えているからです。医師・看護師・作業療法士-薬剤士などの従来の枠組みに、歯科医師、管理栄養士、介護福祉士、臨床心理士なども加えたネットワーク作りを通じて、より多様化した医療保険支援を行い、超高齢化社会の問題に対応していく可能性について取り上げて頂ければと思います。
10	徘徊高齢者を発見した場合、発見から保護までにサポートしている人、施設などシステム化されている好事例があればご教示頂きたい。
11	・住民と専門職の意識統一。目指すべき姿の方向性の統一のはかり方についてどのような工夫や苦労があったのかを伺いたい。 ・住民への問題提供の方法は？
12	地域共生社会などの取組み
13	・厚生局と県、市町村の役割について ・管内の好事例紹介
14	介護に携わるスタッフだけでなく、事業者と、末端スタッフとの間に生じるモチベーションギャップが上手に（又は苦労しながらも）解決に向かっている例、又はその現状。
15	例えばURは地方住宅供給公社の4倍の賃貸住宅の規模があり、魅力的な地域包括ケアの提案をしているが、事業採算性は成立しているのか？ 採算性の面を考えると住宅事業者からの発信は難易度は高いのでは？そういった実態を知りたい。
16	現場で意欲的に働いている、水上弘二氏の講演
17	独居の認知症&認知介護は早期に発見することが難しい。その後の対応もむずかしい。何かヒントがほしい。
18	地域住民も含めたボランティア育成や支援のしくみ作り。
19	①住民主体サービスの取込み（設定）について（先進事例の紹介） ②往診（訪問診療）体制の充実について ③認知症初期集中支援チームの活動事例（先進地の紹介）
20	地域が連携して守る 認知症高齢者

【具体的に取り上げて欲しいテーマ】

21	エンドオブステージ
22	本日のような大規模住宅における様々な工夫（事業を行う上で）等、事例を色々と情報入手できるようなセミナーがあれば、また参加させて頂きたいと思えます。
23	団地、地域活性化に向けたソフトの取組み事例について
24	団地再生をテーマに調査をしております。団地再生と地域包括ケアは密接な関わりで進めていくテーマだと思います。今後もこのようなセミナーを開催させて頂きたいと思えます。
25	団地住人の孤独-孤立化を防ぐための人材の養成、地域包括ケアを推進するコーディネーター養成講座等（→公認心理士の活用・臨床心理士の活用）
26	生活レベルで住民の方と関わることの大切さを取り上げていただきたいです。 神奈川県若葉台団地の事例はとても参考になりました。
27	URや公社の大規模住宅だけでなく、地域のあらゆる住宅や団地に本日のテーマと同様の支援が必要です。地域住民のそうした「地域密着型ワンストップ支援窓口」の取組み事例など。
28	団地に住んでる人が認知症になった。 独居の方の場合、どの様な介入ができるのか、そんなことを考えてみたい。
29	団地再生などまちづくりに関するテーマ
30	育児・子育て対策
31	<ul style="list-style-type: none"> ・被介護者とならないための生活習慣、予防医学の構築。 ・アクティブシニア世代の社会貢献と地域活生、里山復活、被介護者抑制のwin. win.winの体制構築。 ・尊厳死について ・テレワークの推進と高齢者対策（地域復活） （東京都特に東京の一局集中を防ぐ子育て世代も高齢も都会以外で暮らす）
32	大学ならびに職能団体の、地域包括ケアシステムへの参画について特に医療系スタッフ養成コースのある大学（医学部・看護・栄養・リハのコース）職能団体およびその分科会的団体（医師会・栄養士会など）が地域の支援システムにどのように参画していけるかの可能性・問題点・事例について
33	コミュニティづくり
34	医療・介護との連携視点から考える。地域包括ケアシステム
35	多世代交流
36	生活支援事業のとりくみ事例紹介
37	多世代型地域包括支援センターと地域包括ケア
38	建替事業
39	・低所得者向けの公営（高齢者向け）住宅のあり方の見直し。（単なる維持管理・建替・サ高住転換等ではなく、シルバーハウジング制度（国交省）のフル活用など）
40	<p>〈低所得者向けの高齢者住宅施策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の倍率は都内では非常に高いです。入れなかった方に対する住まいの供給や生活支援サービスの提供について取り上げて欲しい。